

スポットタイプはカンタン投薬!

アドボケート®は、お薬を背中にとらすだけのスポットタイプです!

①錠剤の投薬が苦手な飼い主様でも簡単に投薬できる

②こんなワンちゃんでも大丈夫!

- 錠剤など飲み薬が嫌いで、隠れて吐き出してしまう
- 注射が大の苦手
- アレルギーなどでお肉成分が入っているチュアブルは与えられない
- お腹が弱く、飲み薬で下痢気味になりやすい

中栓のはずし方



キャップを抜き取ってひっくり返し、キャップの先端にある凹部を中栓(安全シール)に合わせて差し込みます。

※お子様がいたずらしても中身が出ないように中栓がついています。

キャップをひねって中栓をねじ切りします。

お薬のつけ方



犬の肩甲骨間のほぼ中央の毛を片手で分け、皮膚がよく見えるまでしっかりと押さえます。

もう片方の手でピペットの先端を背中への皮膚につけます。そのままピペットをゆっくりと押し、少しずつ全量を滴下します。

ご注意 ピペットを皮膚にあまり強く押しつけて投与すると、一度投与した薬剤を吸い戻したり、犬の皮膚を傷つけて赤くなる場合があります。薬剤が確実に全量投与されていることを確認しながら滴下してください。

Q. シャンプーはいつ行えばいいですか? 雨に濡れてもだいじょうぶ?

A. シャンプー後に皮膚・被毛が乾けばすぐに投薬できます。投薬後90分経てば、雨などの水に濡れてもフィラリア症予防効果に影響はありませんが、最適なノミ駆除効果を得るために、シャンプーは投薬4日後からにしましょう。



Q. 子犬にも安心して使えますか? また、体重制限はありますか?

A. 生後7週齢以上かつ体重1.0kg以上から、ご使用いただけます。



●**効能・効果** 犬糸状虫症の予防、ノミ、犬回虫及び犬鉤虫の駆除

●**用量** 愛犬の体重に合わせてご使用ください。

| 体重 | 用量 |
|--------------|---------------|
| 1kg以上4kg未満 | 0.4mLピペット1個全量 |
| 4kg以上10kg未満 | 1.0mLピペット1個全量 |
| 10kg以上25kg未満 | 2.5mLピペット1個全量 |
| 25kg以上40kg未満 | 4.0mLピペット1個全量 |
| 40kg以上 | 適切なピペットの組み合わせ |

劇 指定 要指示医薬品 動物用医薬品

アドボケート®は動物病院で処方される要指示医薬品です。詳しい用法・用量は、動物病院の先生の指示に従ってください。

バイエル薬品株式会社 動物用薬品事業部

〒100-8265 東京都千代田区丸の内1丁目6-5 www.bayer-ah.jp

1512-50000-CP-AC-002-IS

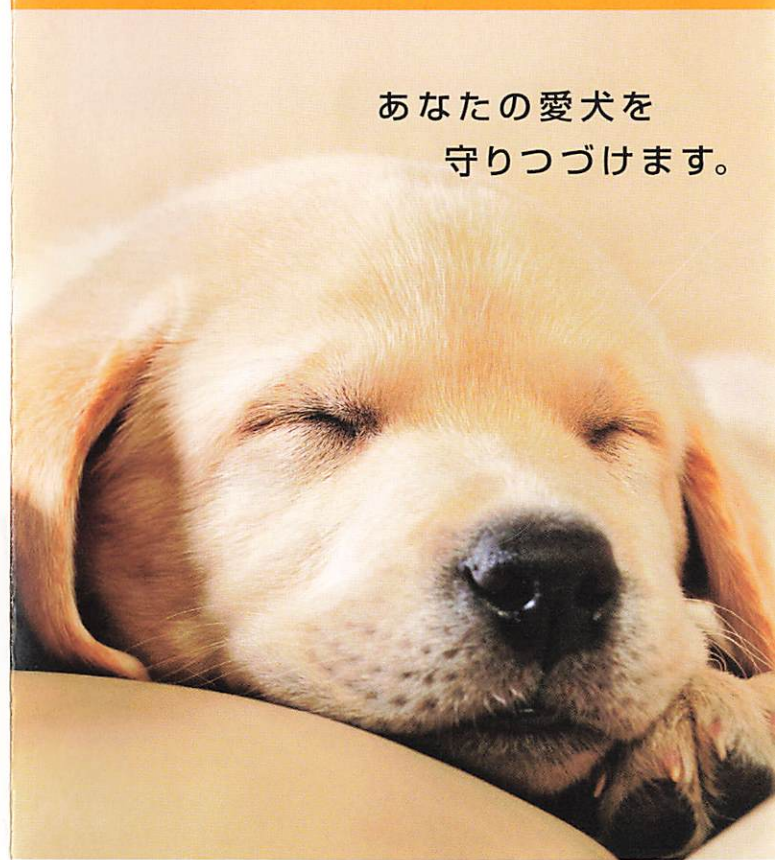
犬用

アドボケート®

品名:アドボケート®犬用

フィラリア症予防だけでなく
ノミ成虫・おなかの虫(回虫・鉤虫)まで
1本で効く!

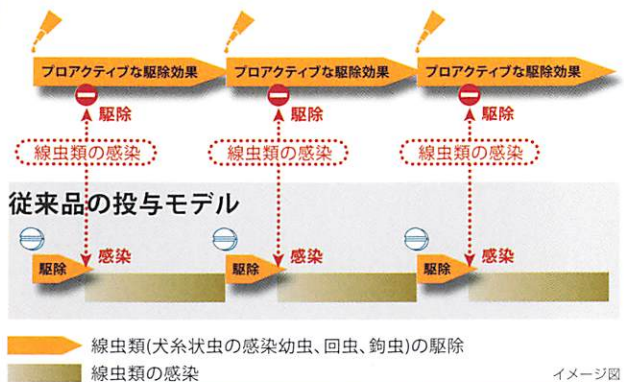
あなたの愛犬を
守りつづけます。



定期的な投薬により、効果が持続。 アドボケート®の駆虫は 〈プロアクティブ〉

一回の投薬で、線虫類(フィラリア感染幼虫・回虫・鉤虫)に駆除効果を発揮。定期的な投薬により、駆除効果が途切れることなく持続し(プロアクティブ)、常に愛犬を守り続けます。

毎月のアドボケート®投与モデル



回虫、鉤虫を駆除します!

おなかの虫は目に見えないうえ症状も出にくいので、見過ごされがちです。「元気がなくなる」「おなかがかふくれる」「消化不良や下痢を起こす」などの症状が見られたら感染している可能性大。動物病院で診察を受けましょう。



犬回虫: 18cm以下...虫の卵を口から飲み込んだり、母犬の胎盤や乳汁からも感染。



犬鉤虫: 2cm以下...幼虫を口から飲み込んだり、皮膚、母犬の胎盤や乳汁からも感染。

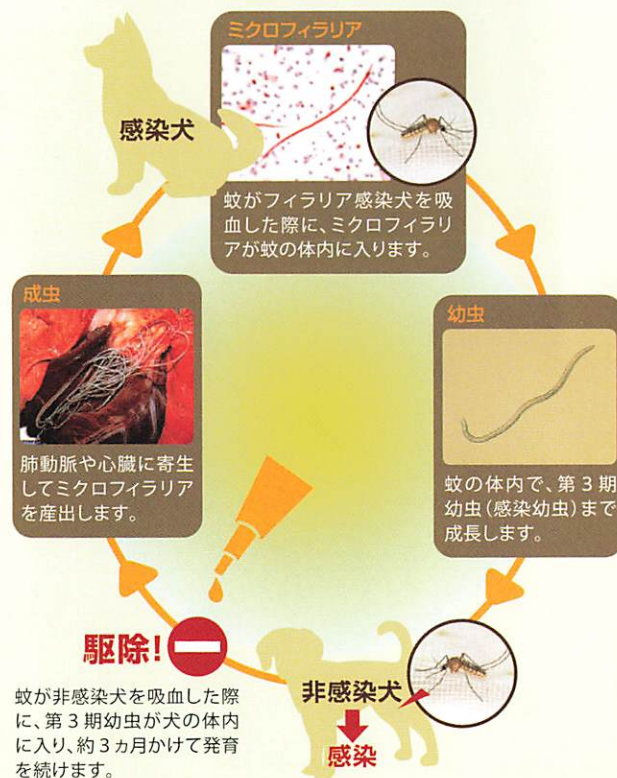
体内にいるフィラリア幼虫※を 100%駆除します!

※第3期・第4期幼虫

- 皮膚につけた部分からモキシデクチンがすばやく体内に吸収され、血中に入り、組織中のフィラリア幼虫(第3期~第4期)に作用します。
- 主にフィラリアなどの線虫類に選択的に作用し、正常な神経伝達を妨げます。

感染幼虫を駆除して、 肺動脈への寄生を防ぎます!

投薬後数日以内に、モキシデクチンが、犬の体内にいるフィラリア幼虫(第3期~第4期)を駆除します。毎月定期的に投薬することによって「寄生予防」が可能になります。



写真提供/佐伯英治先生
(サエキベテリナリイ・サイエンス)

ノミをスピード駆除して、 吸血されるリスクを低減!

- ノミの関節などからイミダクロプリドが体内に取り込まれると、ノミは神経の過剰興奮を起こして3~5分で吸血をストップし死滅します。
- 昆虫の神経に特異的に作用するので、哺乳動物には安全性の高い成分です。



お薬の広がり方

二つの有効成分が異なる経路で広がります。モキシデクチンは投与後すぐに皮膚から体内に吸収され、全身に広がります。イミダクロプリドは、投与後24時間かけてゆっくり全身の皮膚表面と被毛上に広がり、体内にはほとんど吸収されません。



こんなワンちゃんにおすすめ!



家にいるのが大好き!
室内飼育のワンちゃん
都市部に住んでいる

マダニが寄生したことはない

社会化トレーニングを
始めたばかりの子犬

